

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2023 年 7 月 20 日開催分)

開催年月日 : 2023 年 7 月 20 日(木) 11:00~13:00

開催場所 : 株式会社 WOWOW プラス 会議室

委員の出席 : 番組審議員 7 名

WOWOW プラス 7 名

出席者

[審 議 員] 青木眞弥、池ノ辺直子、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯浅正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 大熊和彦、宮澤辰之、青木昭、伊藤里沙、高木慶、
山下泰司 (記録撮影)、渋谷明子 (書記)

議 題 : (1) 2023 年 4 月~6 月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘
・意見について

(2) 「WOWOW プラス」の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項 : 2023 年 4 月~6 月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見に
ついて

当社コンテンツプロデュース局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を
行った。

審 議 事 項 : [審議番組]

『歌で紐解く! 『マクロス』シリーズ 40 周年』

<番組概要>

リン・ミンメイ「愛・おぼえていますか」から最新作まで。アニメ『マクロス』シリ
ーズを彩る“歌”の魅力を、アニメと 3D ライブ映像と共に紐解くオリジナル番組。

“歌×メカ×三角関係”を確立した『マクロス』シリーズの原点である『超時空要塞マ
クロス』で、リン・ミンメイ (CV. 飯島真理) が歌う「愛・おぼえていますか」をはじ
め、『マクロス 7』『マクロス F』『マクロス Δ』まで、歴代の歌姫たちに今なお歌い
継がれ、そしてまた新たに生み出される名曲の数々。それらの魅力を、各シリーズの
アニメ映像と貴重な 3D ライブ映像 (「歌マクロス」より) と共に紐解く。

審 議 内 容 : ■審議員意見

- ・『マクロス』シリーズを知らない人に、このシリーズがどういうものなのか、簡
潔に説明していたのは良かった。初めて見るような人にとっては、18 分は、もう
少し深く紹介しても良かったのではないかと? スマートフォンの映像に特化しても
良かったのではないかとと思う。

- ・シリーズ作品が多くあるだけに、18分に収めるのは大変だったと思う。コンセプトとして「歌」が貫かれていたのも見やすかった。後半の3D映像部分がウリだったと思うので、番組冒頭からそこへの煽りがあっても良かったと思う。
- ・「歌でまとめる」というアイデアは素晴らしい。40年前にはまだ、音楽業界のなかで、アニメソングの地位は一段低く見られていた。それが今では、アニメソングがメジャーになっている。「それは何故？」という番組が別途作れるように思った。
- ・「マクロス」の熱狂的なファンへの情報提供が出来ないと、視聴と加入に繋がらない。情報のマッチングが従来以上に大変になっているのではないかと思う。響く人に情報のボールを投げられるか、だと思う。
- ・歌の構成で『マクロス』というものを紹介するのは、良かったと思う。今後、このような番組を、視聴者やアニメのファンに、どのように伝えていくかはテーマになっている。
- ・企画のアイデアとテーマ、こういう切り口で番組を作る発想はとても良い。マクロスを見ていた、当時、熱狂して見ていたファンに、どうやってこの番組を見てもらうかはすごく大事。いかに伝えるかに力を注がなくてはならないと改めて思った。
- ・40年前から異色のアニメであった。今ではアニメと歌のコラボは当たり前になっているが、当時は国内外でもありえない、ある部分では進んでいたシリーズだったと思った。

連絡事項： 次回番組審議会は、2023年10月19日(木)17時(予定)より開催。

以上